

11月27日（金）19:00～20:30

時 間	内 容	会 場
19:00～20:30	理事会・常任理事会	I-site なんば 3 階 M2

第 1 日目 11 月 28 日（土）13:00～19:30（役員会は 10:30～）

時 間	内 容		会 場
10：30～12：00	評議員会		関西大学 百周年記念会館
12：00～	大会受付開始		
13：00～13：40	ポスター発表コアタイム		
一般講演ポスター発表（展示は2日目の15時まで）○：発表者、※：優秀講演発表賞対象者			
P-1	○※吉田 周（大阪府大院）・小椋純一（京都精華大）京都精華大学キャンパス及びその周辺の蝶類群集		
P-2	○※古川真莉子・中西康介・高倉耕一・西田隆義（滋賀県大・環境） イラガのまゆはなぜ縞模様を形成するのか？		
P-3	○※藤井暢之 ¹ ・本間 淳 ¹ ・籠 洋 ¹ ・日高直哉 ¹ ・来田村輔 ² ・高倉耕一 ¹ ・Sujiono ³ ・沢田裕一 ¹ ・塚田森生 ² ・西田隆義 ¹ （1：滋賀県大・環境・2：三重大・生物資源・3：BBPOPT） インドネシア・ジャワ島における主要害虫ミバエ2種の寄主利用と発育パフォーマンスの関係		
P-4	○※岡田峻典・崔 翔気・市川 誠・武田昌昭・平林公男（信州大・繊維） 千曲川中流域におけるエマージェンストラップ法による水生昆虫類の捕獲ートラップの大きさと捕獲率との関係		
P-5	○※林佳奈子・細見亮太・吉田宗弘（関西大・化生工）セミおよびバッタ類の脂肪酸組成		
P-6	○中西康介（名古屋大・院・環境／滋賀県大・環境） ニホンアマガエルの産卵場所選好性—水田の水管理の影響について		
P-7	○板倉修司・松原 稔・石田藍子・田中裕美（近畿大・農）CTによるシロアリ蟻道構造の解析		
P-8	○木村悟朗・柏耆田勇一・谷川 力（イカリ消毒株）ケミカルライトに誘引される昆虫類（予報）		
P-9	○森 達哉・大下 純・上川 徹（住友化学株）・田中嘉人（住化エンバイロメンタルサイエンス株） 新規ピレスロイド系殺虫剤 momfluorothrin		
P-10	○※芳本悠未・黒倉壽・八木信行（東京大学大学院農学生命科学研究科） フリーソフトを用いた SNS 上データの解析による昆虫食忌避感の分析		
14：00～16：00 一般講演 ○：発表者、※：優秀講演発表賞対象者 座長は最初を除いて前の講演者をお願いします			
	A 会場（特別会議室1）		B 会場（第4・5会議室）
14：00	A-1 ○※斎藤裕介・平井規央・石井 実（大阪府大院・生命） 南大阪の都市域の公園緑地における樹液食昆虫群集の多様性	B-1 ○※森山太介・清水伸泰（京都学園大・バイオ環境） サトウダニが生産する不飽和炭化水素（Z,Z）-6,9-heptadecadiene 生合成酵素の同定	
14：15	A-2 ○※浅井悠太・平井規央・石井 実（大阪府大院・生命） 三草山ゼフィルスの森におけるチョウ群集の20年の変化	B-2 ○※渡邊綺咲・清水伸泰（京都学園大・バイオ環境） アワダチソウグンバイ <i>Corythucha marmorata</i> の警報及び性フェロモンの生成機構	
14：30	A-3 ○※加藤大輝（信州大院・農）・渡邊 修（信州大・農）・新谷和人（上伊那広域連合）・江田慧子（信州大・山岳）・中村寛志（信州大・地域戦略） 絶滅危惧種ミヤマシジミのミチゲーション手法の開発	B-3 ○※渡辺祐基・築瀬佳之・藤井義久（京都大院・農） AE モニタリングによるチビタケナガシクイの摂食活動の非破壊評価	
14：45	A-4 ○※鈴木真裕・山本 直・平井規央・石井 実（大阪府大院・生命） 止水域のエイジが水生昆虫の群集構造に及ぼす影響	B-4 ○※山上繁政・藤井暢之・本間 淳・日高直哉・沢田裕一・西田隆義・高倉耕一（滋賀県大・環境） 塚田森生・来田村輔（三重大・生物資源）・Sujiono（BBPOPT） 2種のインドネシア産ミバエにおける卵成熟の比較	
15：00	A-5 ○※崔 翔気・岡田俊典・市川誠・武田昌昭・平林公男（信州大・繊維） 一つの瀬におけるヒゲナガカワトビケラの幼虫の分布様式	B-5 ○※Ramamonjisoa Noelicanto, Natuhara Yoshihiro (Graduate School of Environmental Studies, Nagoya Univ.) Differential phenotypic responses to multiple predators: deadlier predator induces higher defense investment in a tadpole prey	

	A 会場（特別会議室 1）	B 会場（第 4・5 会議室）
15 : 15	A-6 ○※森井清仁・中野光議・岩間憲治・高倉耕一（滋賀県大・環境科学） 農業水路におけるスジエビ <i>Palaemon paucidens</i> とカワリヌマエビ属 <i>Neocaridina</i> spp. の分布 ～淡水エビ類 2 種に競争は働くか～	B-6 ○※山中康如・岩田隆太郎（日大院・森林動物） 西表島におけるタカサゴシロアリの営巣生態とリュウキュウアカショウビンの営巣が巣内の環境に与える影響
15 : 30	A-7 ○※田村ユカ（名古屋大院・環境）・矢部隆（愛知学泉大・現代マネジメント）・夏原由博（名古屋大院・環境） 岐阜県海津市山除川水系における淡水棲カメ類の分布様式と生息状況の変化	B-7 ○※木村秀平・菊池隆之助（龍谷大・理工）吉村剛（京都大・生存圏） 温帯森林環境の元素循環におけるシロアリの重要性
15 : 45	A-8 山本 賢・○大庭伸也（長崎大・教育） カダヤシの駆除に向けての取り組み：意識調査と駆除方法の検討	B-8 ○※板野太亮・青木悠記子・市村由美子・浅井洋・鹿島誠一・引土知幸・川尻由美・中山幸治（大日本除蟲菊株式会社中央研究所） テルペン類等の蚊に対する効果
16 : 00～17 : 45 総会（ホール 2） 学会賞 受賞講演 奨励賞 受賞講演 優秀講演発表賞 表彰		
18 : 00～19 : 30 懇親会 百周年会館 1F レストラン紫紺		

第 2 日目 11 月 29 日（日）9:30～16:30

9 : 30～11 : 45 一般講演 ○：発表者 座長は最初を除いて前の講演者をお願いします		
	A 会場（特別会議室 1）	B 会場（第 4・5 会議室）
9 : 30	A-9 ○初宿成彦（大阪市立自然史博物館） 近畿地方における氷期の自然環境と昆虫分布の推定	B-9 ○菊田さやか・七呂陽子・市村由美子・引土知幸・川尻由美・中山幸治（大日本除蟲菊株式会社中央研究所） 天然由来成分 p-メンタン-3,8-ジオールを有効成分とした貯穀害虫用防除剤の検討
9 : 45	A-10 ○山崎一夫（大阪市立環境科学研究所）・杉浦真治（神戸大院・農） スギヒメハマキの虫えいから吸汁するハナムグリ類	B-10 ○青木悠記子・三石帆波・向永真也・渡辺友恵・川尻由美・中山幸治（大日本除蟲菊株式会社中央研究所）・栗政明弘（鳥取大学大学院医学系研究科）・伊達勇介・藤井貴敏・青木 薫（米子工業高等専門学校 物質工学科） 米子市弓浜地区におけるトクナガクロスカカの防除について
10 : 00	A-11 ○今井長兵衛・小高優美・佐々木美優（千里金蘭大） 大阪千里丘陵に位置する女子大学におけるカラス害アンケート調査	B-11 ○大村和香子・神原公平（森林総研） シロアリの摂食行動の種間比較－銅化合物に対する検討－
10 : 15	A-12 芳本悠未・○高倉耕一（滋賀県大・環境） 簡便かつ安価な環境 DNA 抽出・検出法	B-12 ○中嶋智子・横田 景・分銅絵美・片山哲郎・福浦祐介・山田一成・原田克也（京都府保健環境研究所・環境衛生） 京都市伏見区におけるアルゼンチンアリ地域一斉防除の現状 2
10 : 30	A-13 ○築瀬佳之・渡辺祐基・藤井義久（京都大院・農）・藤本いずみ・吉村剛（京都大・生存圏） マイクロフォーカス X 線 CT による木材中のヒラタキクイムシおよびアフリカヒラタキクイムシ幼虫の摂食過程の可視化	B-13 ○辻 英明（環境生物研究会）・菅野格朗・石川善大・片山淳一郎（環境機器（株）） 室外の誘引装置がタバコシバンムシの家屋侵入に及ぼす影響
10 : 45	A-14 西中康明（関西大） 京都市東山周辺におけるチョウ類群集と景観構造との関係	B-14 石山良範（株式会社イーアンドエル） 昆虫の誘引は物体の色に関係するか？ ―新しい防虫方法の可能性について―

11 : 00	休 憩	
	A 会場（特別会議室 1）	B 会場（第 4 ・ 5 会議室）
11 : 15	A-15 ○中村寛志（信州大・地域戦略）・江田慧子（信州大・山岳） 高山帯におけるチョウ類調査に及ぼす天候の影響ーモニタリング 1000 高山帯チョウ類調査データをもとにー	B-15 ○鈴江光良・安藝良平・下村健司・井村有里（アース・バイオケミカル株） 二酸化塩素の各種昆虫・室内塵性ダニに対する殺虫効果
11 : 30	A-16 ○江田慧子（信州大・山岳）・芥川文香（信州大・農 AFC）・中村寛志（信州大・地域戦略） 絶滅危惧種オオルリシジミの分子系統解析	B-16 ○田中嘉人（住化エンバイロメンタルサイエンス（株））・山田将弘、庄野美徳、西岡 史雄（住友化学（株）） 新規殺虫原体モンフルオロトリンの効力
11 : 45	A-17 ○上田昇平（大阪府大・生命）・小松 貴（九州大・熱農研）・市野隆雄（信州大・理, 山岳）・新井隆介（信州大院・総合工）・坂本洋典（玉川大・脳科学） アリの巣に寄生するチョウ, 日本産ゴマシジミ類の寄主アリ特異性	B-17 ○大橋和典・西岡史雄・庄野美徳（住友化学（株））・Yousif E. Himeidan（Vector Health International）・Sarah Goretti（住友化学（株））・John F. Invest, John R. Lucas（Sumitomo Chemical UK） 屋内残留散布剤 SumiShieldR50WG のマラリア媒介蚊に対する生物効力
12 : 00~13 : 00 昼 食		
13 : 00~16 : 30 市民公開シンポジウム（ホール 2）		
市民公開シンポジウム 「食と昆虫」 座長：吉田 宗弘（関西大学化学生命工学部） 1）屋内で発生する小蛾類 九州大学大学院農学研究院 広渡 俊哉 2）食品製造現場に発生する貯穀害虫の制御 イカリ消毒（株） 尾野 一雄 3）世界は虫を食べているー伝統的昆虫食の意味と価値ー 立教大学 野中 健一 4）Are insects 'healthy'? A systematic review of the evidence University of Cambridge Charlotte L R Payne		